がるがる

どd

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト
http://pdfnovels.net/

注意事項

このＰＤＦファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にＰＤＦ化させたものです。

この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのＰＤＦファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

がるがる

【Ｎコード】

Ｎ４４２６Ｚ

【作者名】

どｄ

【あらすじ】

あまりいみのないもの。

教会の神がかり嘔吐へ誘え
　びちゃびちゃ　小汚い人生だったなと嘲笑う涙
鐘がキンコンカンコン永久に　耳を揺らし　背骨に電流を灯す
五月雨降り注いだ後の　虹　鐘がキンコンカンコンと鳴れば掻き消し　蚊
　教会の神がかり嘔吐を誘う
　くちゃくちゃ　とても切れない人生だったなと嘲笑う涙
鐘がキンコンカンコン瞬間的に　鼻水を垂らし　お腹の脂肪を燃焼する

　イヤホンを耳に付けてトリップｔｒｉｐと叫ぶ人間の騒音　心地が良いまま　教会の

　ステンドガラスをふと見上げると光明　イエスが降臨するような気がしたがイエスのことを何もしらない　ただイメージだけで物を知ったつもりになっていると　悲しくなり　空しくなる　所詮　まだまだ　若いね　あれ　怒っちゃった　と隣に尋ねてみると姿を物と同化させていて変温動物のようなのとしくしくしている　あーあ　と白けた　すると睨む　　鐘がキンコンカンコン連鎖している中で永久に睨まれている　イヤホンを耳から離してみると　鐘の鳴るのが同時に止んで　教会に静寂が取り戻されて　光明はさらに太陽によって力強く　間を潜り抜ける光線

　なにをかんがえているのかわからない　うそばかりいうから　ほんねがみえてこなくて　こわいんですよ　でもずるいとはおもいますが　ほんとうにいやだとはおもいません　ですからそうだなあ無視してください　といって驚かされる神父　何時の間にか聖書を握って　ずっと　ずっと

祈りをしている　後ろから見てる
教会の神がかり嘔吐を誘え
ぐちゃぐちゃ　まだこれからの人生だよと微笑む真顔
ステンドガラスを突き破って　やまのてせんのでんしゃが教会につっこんできた
光明と共に入り込んできたイエスと見紛い　神父はでんしゃに祈りを捧げ
ステンドガラスの破片を心臓に突き刺さって
血花を咲かせて　黒く染まる　目暗

まるでペンキに足を突っ込んだみたいじゃないか　白い子供が邪悪
違う　この社会を　この意義を　お前のためにツブセ　獄をツブセ　御飯を平らげて
荒れ果てた廃墟の　無人の島　夢の島へようこそ！　今日からあなたは夢模様
エレキギターが掻き乱されれ　ドラムが打ち鳴らされ　魔笛が吹かれれば　屍が甦る
何故操り人形の糸が切れたかのようにへたばった　絆　傷菜　着ずナ　廃墟の海に一つだけ真っ白の用紙にあんなにもでかでかと文字で　うつくしい……　無情の汚濁に引っ張り込まれて何処へ行くのでしょう　理性を保たなきゃ言葉はめちゃくちゃに糸を切っていく　琴切れるがお望みかいと演奏が奏でられ　ボーカルはいまだ現れない会場で　ょぅくかんがえたらお客もいない　人気の無いバンドさ　廃墟に魔笛を担いで　どこへいくのかなとボーカルが独り言を
　ひとりぼっちで
　ふたりぼっちで

さんにんぼっち
よにんぼっち
ごにんぼっち
現実のものとなった夢の島に　いまだ足を踏み入れぬ観客よ
憂鬱を我が物として　蛆の道を闊歩し　いまここで本当の演奏を知る　たった数人の孤独が奏でる音の電波に呑まれ　理性を無くし
頭を垂らす　王冠を被れ　お前だけの感情の冠の　その色
錯乱するな　いろどりよ永遠であれ　理性もまたえいえんであれ
この夢の島でだけ
廃墟の中で　夢の時間
朝になれば都市へ還ろう　数人の孤独とひとまずの別れを告げて
王冠が錆びたらまた訪れればいいのさ　小舟にのって
ゆらゆらと
ゆらゆらと
ゆらゆらと

叫んでから　全部嘘でしたと笑え虚偽だと笑え終わらぬように終えるように　叫んでから　全部嘘でしたと笑え虚偽だと笑え終わらぬように終えるように　叫んでから　全部嘘でしたと笑え虚偽だと笑え終わらぬように終えるように　叫んでから　全部嘘でしたと笑え虚偽だと笑え終わらぬように終えるように　叫んでから　全部嘘でしたと笑え虚偽だと笑え終わらぬように終えるように　叫んでから　全部嘘でしたと笑え虚偽だと笑え終わらぬように終えるように

叫んでから　全部嘘でしたと笑え虚偽だと笑え終わらぬように終えるように　叫んでから　全部嘘でしたと笑え虚偽だと笑え終わらぬように終えるように　叫んでから　全部嘘でしたと笑え虚偽だと笑え終わらぬように終えるように　叫んでから　全部嘘でしたと笑

え虚偽だと笑え終わらぬように終えるように　叫んでから　全部嘘でしたと笑え虚偽だと笑え終わらぬように終えるように　叫んでから　全部嘘でしたと笑え虚偽だと笑え終わらぬように終えるように

その中から本物を拾い上げて　すべてをはじめよう

がるがるいがるがろう　いみのないじゅもんを　おそわりながら

叫んでから　全部嘘でしたと笑え虚偽だと笑え終わらぬように終えるように　叫んでから　全部嘘でしたと笑え虚偽だと笑え終わらぬように終えるように　叫んでから　全部嘘でしたと笑え虚偽だと笑え終わらぬように終えるように　叫んでから　全部嘘でしたと笑え虚偽だと笑え終わらぬように終えるように　叫んでから　全部嘘でしたと笑え虚偽だと笑え終わらぬように終えるように　叫んでから　全部嘘でしたと笑え虚偽だと笑え終わらぬように終えるように叫んでから　全部嘘でしたと笑え虚偽だと笑え終わらぬように終えるように　叫んでから　全部嘘でしたと笑え虚偽だと笑え終わらぬように終えるように　叫んでから　全部嘘でしたと笑え虚偽だと笑え終わらぬように終えるように　叫んでから　全部嘘でしたと笑え虚偽だと笑え終わらぬように終えるように　叫んでから　全部嘘でしたと笑え虚偽だと笑え終わらぬように終えるように

その中から本物を拾い上げて　すべてをはじめよう

がるがるいがるがろう　いみのないじゅもんを　おそわりながら

がるがるいがるがろう　いみのないじゅもんを　かなでることから

がるがるいがるがろう　いみのないじゅもんを　おそわりながら

叫んでから　全部嘘でしたと笑え虚偽だと笑え終わらぬように終えるように

その瓦礫から真実を吸い込んで　星のキラメキにしよう　月よりも大きな

太陽よりも静かなじゅもんを　おしえながら

がるがるいがるがろう　　霧を掻き分けて

PDF小説ネット発足にあたって

　PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能（たんのう）してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
http://ncode.syosetu.com/n4426z/

がるがる

2011年12月15日02時49分発行